

京都産業大学 受験等に際しての障害等のある方への受験配慮について（学部生対象）

京都産業大学では、障害がある等の理由により、通常の実験が困難な方への「受験上の配慮」および入学後の修学について配慮を必要とする方への「修学上の配慮」を行っています。

なお、大学院入試時の受験上の配慮については、教学センター大学院担当へお問い合わせください。

問い合わせ先は、P.5を確認してください。

目次

1. 事前相談	P.2
2. 申請	P.2
(1) 申請書類の提出期日	P.2
(2) 申請書類	P.2
(3) 申請方法	P.3
3. 配慮内容の決定	P.3
(1) 配慮内容の決定および受験配慮決定通知書の送付	P.3
(2) 受験上の配慮例	P.4
①視覚に関する配慮	P.4
②聴覚に関する配慮	P.4
③肢体不自由に関する配慮	P.4
④発達障害に関する配慮	P.4
⑤その他の配慮	P.4
4. 修学上の配慮	P.5
(1) 障害学生教育支援センター	P.5
(2) 支援の対象と範囲	P.5
(3) 配慮例	P.5
(4) 入学後について	P.5
5. 問い合わせ先	P.5
6. 受験配慮願 記入例	P.6
(1) 公募推薦入試・一般選抜入試用 記入例	P.6
(2) 総合型選抜、専門学科等対象公募推薦入試等その他入試制度用 記入例	P.7

1. 事前相談

受験上の配慮および入学後の修学上の配慮について希望される方は、申請書類の提出期日までに必ず、入学センターにご相談ください。事前に、希望の受験配慮内容等についてヒアリングを行います。なお、出願後の不慮の事故による負傷等で、受験上の配慮を希望する場合は、速やかに入学センターまで問い合わせてください。

ヒアリングした内容に関わる情報については、入学センターおよび当該学部事務室等の関連部署間で共有します。

2. 申請

(1) 申請書類の提出期日

事前相談の内容をもとに、原則、入試制度毎に定めた次の期日までに、本学が指定する申請書類を提出してください。

入試制度名	申請書類の提出期日
公募推薦入試	9月29日(金)
一般選抜入試[前期日程][中期日程]	12月8日(金)
一般選抜入試[後期日程]	2月2日(金)
総合型選抜、専門学科等対象公募推薦入試 等その他入試	出願締切日まで

(2) 申請書類

- ① 受験配慮願 [本学所定様式]
- ② 医師の診断書 (原本/具体的な症状や状態が記入されているもの)
- ③ 身体障害者手帳 (コピー) ※該当者のみ
- ④ 大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知 (コピー) ※該当者のみ

< 「①受験配慮願」記入上の注意 (P.6~7 記入例参照) >

記入項目	記入上の注意
連絡先	日中に連絡のとれる電話番号を記入してください。保護者の携帯電話番号・高等学校等（担当教員がいる場合）の電話番号でも構いません。
出身学校	正式名称を記入してください。（例：〇〇県立〇〇高等学校）
受験について	入試制度・試験日・学部・科目（公募推薦・一般選抜のみ）を記入してください。 ※出願する可能性のある入試制度・試験日が複数ある場合は、受験配慮願にその全てを記載してください。
提出書類	受験配慮願以外に提出する書類に☑を記入してください。
配慮理由	該当する種別に☑のうえ、症状名を明確に記入してください。
希望する措置	配慮理由に基づき、希望する配慮内容について具体的に記入してください。
その他	高等学校等において、普段の授業や定期試験等で受けている配慮があれば、具体的に記入してください。

- ・「受験配慮願」提出後、記入内容に変更があった場合は、速やかに本学入学センターに連絡してください。
- ・記入内容に変更があった場合は速やかに本学入学センターに連絡してください。

(3) 申請方法

- (2) 申請書類に記す①~④の申請書類を準備していただき、任意の封筒に同封し次の送付先に郵送してください。

送付先 : 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
京都産業大学 入学センター 入試担当

<注意事項>

- ・出願書類には同封しないでください。
- ・封筒の表に「**受験配慮願在中**」と朱書きしてください。
- ・1回目の申請時に申請していない入試制度、試験日に新たに出願する場合、(2)申請書類のうち「①受験配慮願」のみを提出してください。②~④の申請書類は1回目の申請書類を流用しますので新たに提出していただく必要はありません。

3. 配慮内容の決定

(1) 配慮内容の決定および受験配慮決定通知書の送付

提出された受験配慮願の内容に基づき、検討のうえ、受験上の配慮を決定します。

受験上の配慮の決定事項は、「受験配慮決定通知書」により通知します。（受験票とは別に発送します。）「受験配慮決定通知書」が手元に届きましたら、記載事項を確認し、氏名・入試制度・試験日・受験学部・試験会場が申請内容と異なる場合は、速やかに入学センターに連絡してください。

「受験配慮決定通知書」は受験票と同じく試験当日、試験会場に持参してください。

なお、「受験配慮決定通知書」は再発行しませんので、大切に保管してください。

<注意事項>

- ① 受験上の配慮は、入学試験という性格上、全体の公平性が確保できる範囲で行います。
- ② 病気・負傷や障害等の内容、程度によっては、受験時の配慮や入学後に修学上の配慮が行えない場合があります。
- ③ 受験上の配慮を認める試験会場は、原則として京都会場（京都産業大学）のみとなります。

(2) 受験上の配慮例

受験上の配慮例は、次のとおりです。本学の配慮実績をもとに記載しています。

① 視覚に関する配慮

- ・点字問題冊子の配付および点字解答
- ・チェック解答
- ・拡大文字問題冊子の配付（通常の問題冊子も配付）
- ・拡大鏡等や照明器具の持参使用

② 聴覚に関する配慮

- ・注意事項等の文書による伝達^{※1}
- ・筆談による伝達
- ・補聴器^{※2}や人工内耳の装着使用

※1：試験室で監督者が口頭で説明する事項を文書にし、監督者が受験者に提示するもの

※2：FM式を含む無線式の補聴器を除く

③ 肢体不自由に関する配慮

- ・チェック解答
- ・歩行器や車椅子、杖等の持参使用

④ 発達障害に関する配慮

- ・チェック解答
- ・拡大文字問題冊子の配付（通常の問題冊子も配付）

⑤ その他の配慮

- ・試験時間の延長
- ・別室の設定（少人数室・個室）
- ・試験室のある建物付近までの車の乗り入れ
- ・試験室入口までの付添者の同伴
- ・座席指定（前列、トイレに近い、出入口付近など）

4. 修学上の配慮

(1) 障害学生教育支援センター

障害学生教育支援センターでは、障害があるなどの理由により、修学上の困りごとや悩みを抱える学生の相談に応じています。本学で学ぶうえで、授業・定期試験時等の配慮相談をはじめ、学部等関係部局や授業担当教員等と連携しながら、必要に応じた配慮・調整を行っています（合理的配慮の提供）。配慮調整を必要とされる場合等があれば、障害学生教育支援センターまで問い合わせてください。

(2) 支援の対象と範囲

- ・対象：障害・疾患などにより修学上の配慮・調整を必要とする方
- ・範囲：講義・実験・フィールドワークなど、本学が提供する修学プログラム

(3) 配慮例

- ・視覚障害：テキストデータ化／授業補助・対面朗読 など
- ・聴覚障害：文字通訳サポート^{※1}／映像資料の文字起こし など
- ・肢体不自由：移動支援 など
- ・発達障害：ポイントテイクサポート^{※2} など

※1：文字通訳サポート：授業中の音声情報をパソコンタイピングや音声認識等で文字伝達するサポート

※2：ポイントテイクサポート：授業内容を補助的にノートにまとめるサポート

(4) 入学後について

入学後、初回授業から適切な配慮・調整を行うためには、事前の準備期間が必要となります。本学への入学を決定（第2次手続完了）された方のうち、修学上の配慮・調整が必要な方は、出願前と同様に障害学生教育支援センターまで問い合わせてください。

5. 問い合わせ先 / 窓口取扱時間【月～金】9：00～16：30

●「受験上の配慮」

入学センター

TEL. 075-705-1437

E-mail: info-adm@star.kyoto-su.ac.jp

●「修学上の配慮」

障害学生教育支援センター

TEL. 075-705-1981

E-mail: shogai-support@star.kyoto-su.ac.jp

●「大学院入試時の受験上の配慮」

教学センター 大学院担当

TEL. 075-705-1913

E-mail: daigakuin-jim@star.kyoto-su.ac.jp

6. 受験配慮願 記入例

(1) 公募推薦入試・一般選抜入試用 記入例

京都産業大学入学試験 受験配慮願

※公募推薦入試・一般選抜入試での配慮を希望する際に使用してください。

(カガナ) 受験者 氏名	コヤマ ハナコ		性別	男	<input checked="" type="radio"/> 女	出身 学校	京都府立本山高等学校
	神山 華子						
住所	(〒603-8555) 京都府京都市北区上賀茂津ノ国町1-3-18 津ノ国マンション108号						
連絡先	メールアドレス info-adm@star.kyoto-su.ac.jp 携帯 TEL 080-1234-5678 自宅 TEL 075-705-1437 (<input checked="" type="checkbox"/> 本人・ <input type="checkbox"/> 保護者) ※日中の連絡のとれる電話番号を記入してください。						
受験 について	①入試制度	②試験日	③学部(学科・専攻)		④選択科目		
	※いずれかに○印		※出願する可能性のある試験日・学部を全て記載してください。また、別室・試験時間延長等での受験を希望する場合、試験会場は原則として京都会場のみとなります。				
	<input checked="" type="radio"/> 公募推薦	一般選抜	11月18日	経済学部 経済学科		国語	
	<input checked="" type="radio"/> 公募推薦	一般選抜	11月19日	経営学部 マネジメント学科		数学	
	公募推薦	<input checked="" type="radio"/> 一般選抜	1月26日	経営学部 マネジメント学科		日本史	
		<input checked="" type="radio"/> 一般選抜	1月27日	経済学部 経済学科		世界史	
		一般選抜	月 日				
		一般選抜	月 日				
		一般選抜	月 日				
		一般選抜	月 日				
書類 提出	<input checked="" type="checkbox"/> 医師の診断書 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳(コピー) <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(コピー)						
配慮 理由	種別 ※該当するものチェック・症状名を明記してください。						
	<input type="checkbox"/> 視覚障がい <input type="checkbox"/> 聴覚障がい <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 発達障がい <input checked="" type="checkbox"/> その他 症状名: 過敏性腸症候群 大人で試験を受けるといった緊張する場にいると腹痛になり、トイレに行きたくなる。						
希望 する 措置	・トイレに近い教室での受験 ・座席を出入口付近に指定						
その他	高等学校での定期試験は、座席を出入口付近に指定している。						

場合によってはご希望に添えないこともあります。予めご了承ください。

※申請内容に関する情報は入学センター及び学部事務室等の関連部署で共有し、受験上の配慮や入学後の配慮に関する検討や準備等のために活用することがあります。

(2) 総合型選抜、専門学科等対象公募推薦入試 等その他入試制度用 記入例

京都産業大学入学試験 受験配慮願

※総合型選抜、専門学科等対象公募推薦入試等その他入試での配慮を希望する際に使用してください。

(フリガナ) 受験者 氏名	コウヤマ ハナコ 神山 華子	性別	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	出身 学校	京都府立本山高等学校
住所	〒603-8555 京都府京都市北区上賀茂津ノ国町 1-3-18 津ノ国マンション 108号				
連絡先	メールアドレス info-adm@star.kyoto-su.ac.jp 携帯 TEL <u>080-1234-5678</u> 自宅 TEL <u>075-705-1437</u> (<input checked="" type="checkbox"/> 本人・ <input type="checkbox"/> 保護者) <small>※日中の連絡のとれる電話番号を記入してください。</small>				
受験について	①入試制度 AO入試	②試験日・学部(学科・専攻) 9月●日(1次選考) 10月●日(2次選考) 法学部法律学科			
書類提出	<input checked="" type="checkbox"/> 医師の診断書 <input checked="" type="checkbox"/> 身体障害者手帳(コピー) <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(コピー)				
配慮理由	種別 ※該当するものチェック・症状名を明記してください。 <input type="checkbox"/> 視覚障がい <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障がい <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 発達障がい <input type="checkbox"/> その他 症状名: 重度両側性感音難聴 身体障害者障害程度等級 1種2級(両耳全ろう)で補聴器を使用しなければ、ほとんど音は聞こえない。補聴器を使用した場合、音の認識は可能。言葉の聞き分けは、読話が必要。				
希望する措置	・補聴器の使用(FM式ではない) ・注意事項等の文書による伝達(試験開始・終了の合図を含む) ・座席を前列に指定(2列目~4列目)				
その他	高等学校で補聴器を使用している。(授業・定期試験時を含む) 定期試験の開始と終了の合図および注意事項説明は文書伝達で行っている。 教室での座席を前列に指定している。(定期試験時を含む)				

場合によってはご希望に添えないこともあります。予めご了承ください。

※申請内容に関する情報は入学センター及び学部事務室等の関連部署で共有し、受験上の配慮や入学後の配慮に関する検討や準備等のために活用することがあります。